



学術会議法人化法案を廃案に！

参議院議員会館で集会が開催される

6月3日学術会議法人化法案廃案を求める集会が参議院議員会館内の会議室で行われ、会場にはイスに座りきれないほど多くの参加者が集まりました。冒頭に内閣府が反対署名の受け取りを拒否していることがあきらかにされ、会場からは怒りの声が上がりました。学者・議員・ジャーナリスト・市民運動代表などが次々と廃案まで闘う決意を表明しました。発言の一部を紹介します。

■**竹信三恵子**(和光大名誉教授)研究者もジャーナリズムも上に忖度するのはダメ。格差は研究室にいただけではわからない。声の小さい人の訴えを聞くべき。景気が良くなっても賃金が上がらない。声を上げた関西生コン支部は暴力行為をでっち上げられ弾圧されたが、学者やジャーナリズムが支援して真実が明らかになった。

■**金平茂樹**(ジャーナリスト)衆院での坂井大臣の「特定イデオロギーの委員は解任できる」という答弁は恐ろしい。官僚は学術会議のメンバーを「あいつら」と呼んでいる。戦前の言論弾圧事件のころと同じ時代になっている。

■**永田浩三**(武蔵大名誉教授)今回の法案は「平和」の文字が消えた。法案の本質は学術会議の人事を政府が握るということだ。

■**森達也**(映画監督)「(日本が)いつ戦争になってもおかしくない」という言葉が語られている。その帰結として軍備の増強が進められている。メディアは権力に萎縮し忖度するものだ。備蓄米はうまいと報道されているが、これまで日本の農政の問題について指摘してきたのか。メディアは権力を監視しなければいけない。



国会前でも抗議行動が開催されました